

11/2 大雨による運転見合わせで大幅なダイヤ乱れ発生 「野球応援優先」だけではなかった不誠実な対応!

11月2日、東海道・山陽新幹線は、大雨による運転見合わせにより大幅なダイヤ乱れが発生して、新大阪駅も大混乱になりました。この異常時のなか、非常呼び出しもあったにもかかわらず、社会人野球大会の応援を優先させた不誠実な対応について、前号（かんさい回覧板No. 114）でお知らせしました。

11月2日における不誠実な対応は、「野球応援優先」だけではありませんでした。

* 福田サービック第二事業所副所長

福田副所長は11月2日は非番でした。新大阪駅や職場が混乱しているにもかかわらず「野球応援」に行っています。

その福田副所長が2日以降の点呼において

福田「2日は多くのミスがありました。今後は丁寧な作業を心がけてください」

点呼を受けた社員からは

社員「現場にいなかったのにいい加減なことを言わないでくれ」「ミスがあったと言ったが社員に責任はない。どのような状況だったのか報告は受けていないのか」と抗議の声があがりました。

* 地本（J R 東海労新幹線関西地本）と支社（J R 東海関西支社）とのやりとり

地本「第三出勤（非常呼び出し）は出ていたのか」

支社「9時40分から15時頃まで第三出勤をかけていた」

地本「異常時の対応をせずに野球応援に行っていたのではないか」

支社「応援に行っていたがそれだけではない」

地本「当日、新大阪駅で支社の課員が案内しているのを見ていない」

支社「支社の課員も応援に行っている」

地本「支社の課員は何人で対応したのか」

支社「何名とか答える必要はないと考える」

地本「改札口で案内しているのを見ていない。応援に来ていないのと同じだ」

支社「会社としてちゃんと対応している」

地本「新大阪駅の混雑は危険だった。会社としての危機管理体制に問題がある」

支社「会社として異常時の危機管理はケースバイケースで行っている」

地本「今回は支社の課員が対応しないケースなのか」

支社「今回も支社の課員は出ている。会社としてしっかりと対応している」

地本「組合としては支社の課員が対応したという認識はない。問題だ。乗客の生命と安全を司る鉄道業として失格だ」